



仙 台 市  
コンプライアンス  
推 進 計 画



(骨子素案)



# 目次

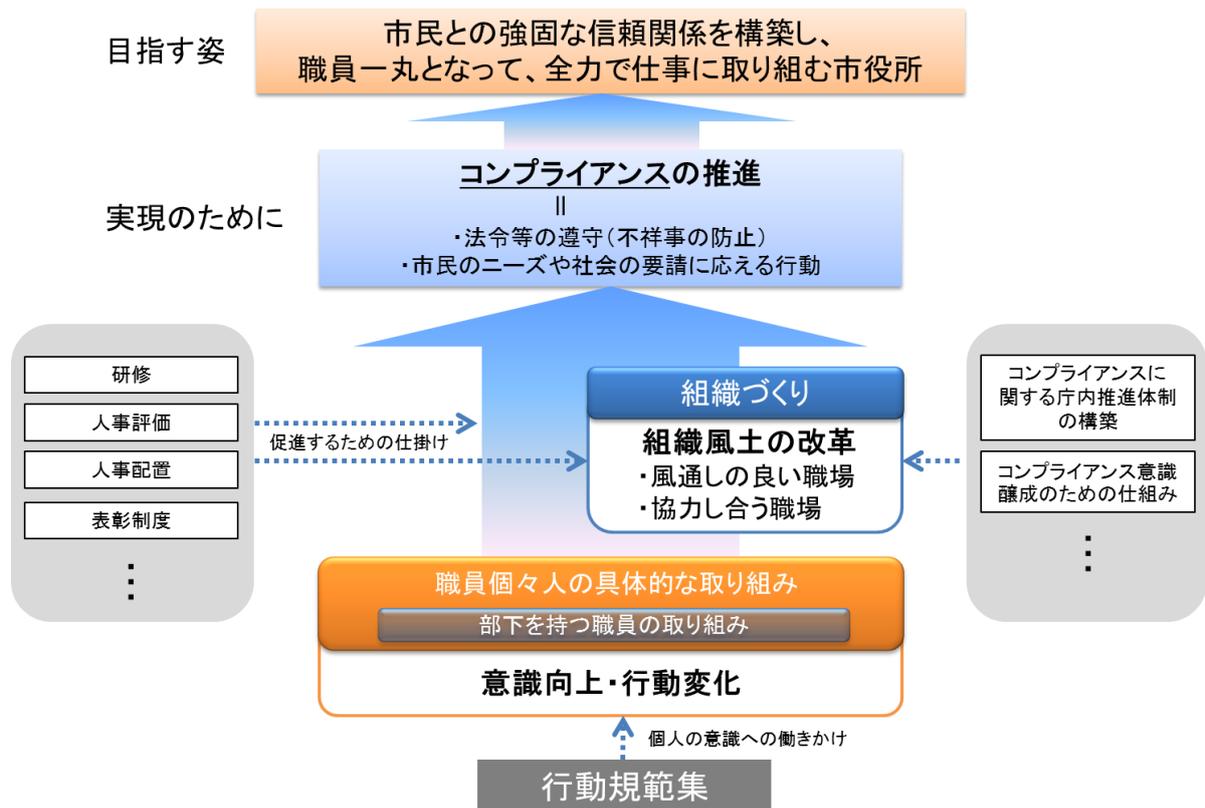
1. 計画の目的	.....	1
2. 計画期間	.....	1
3. 施策体系	.....	2
4. 推進に向けて	.....	6

# 1 計画の目的

計画策定の趣旨について記載

- ・コンプライアンス推進に関わる庁内の取り組みを体系化することにより、各施策の目的を明確にし、一体的な運用を図るために策定。

<コンプライアンス推進の全体像>



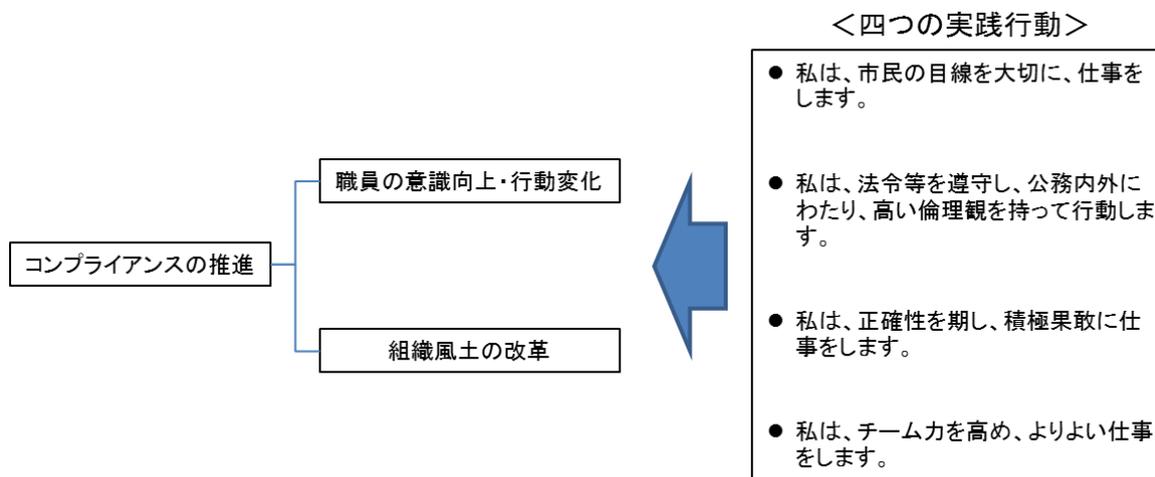
# 2 計画期間 (案)

平成28年度～平成30年度までの3か年とする。

### 3

## 施策体系

コンプライアンス推進のための施策体系は以下のとおり。



(1) 私は、市民の目線を大切に、仕事をします。

施策 1 コンプライアンスに関する研修等の実施

施策 2 定期通信の発行

施策 3 市民の声制度の運用

(2) 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します。

施策 4 公務員倫理・サービスチェックシートの実施

施策 5 定期通信の発行（再掲）

施策 6 各種監査等の実施

施策 7 仙台市職員相談・通報窓口の運用

(3) 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。

施策 8 リスクマネジメントの実施

施策 9 業務改善制度の運用

(4) 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。

施策 10 職場ミーティング等の励行

施策 11 オフサイトミーティングや職場訪問等の実施

## (1) 私は、市民の目線を大切に、仕事をします。

### 施策1 コンプライアンスに関する研修等の実施

【目的】 行動規範の浸透や法令等の理解、接遇に関する研修などを通して、職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の浸透・定着を図っていくことを目的とする。

#### ■ 各職場における啓発

##### 【ねらい】

- 職員一人ひとりが常にコンプライアンスを意識できる風土を醸成していくためには、小さい単位（課又は係レベル）で実施するミーティング等が重要。
- 朝礼や職場ミーティング等において、所属長が行動規範集の内容を継続的に周知し、コンプライアンス意識の浸透・定着を図っていく。

#### ■ コンプライアンス推進に係る役職者への研修

##### 【ねらい】

- 各局区におけるコンプライアンスの推進を図るために、役職者を配置するが、これらの役職者が自らの役割を理解し、コンプライアンス意識の根付いた組織風土を醸成していくために、各役職者向けに研修を実施する。

#### ■ 階層別研修

##### 【ねらい】

- 新規採用時や昇任等の節目で行う階層別研修において、地方公務員法等の公務員としての基本的な部分を振り返るとともに、コンプライアンスの基本やそれぞれの立場での役割などについて理解する。

#### ■ 接遇等に係る研修

##### 【ねらい】

- 新規採用時に行う接遇等の研修や、民間企業体験研修などを通して、市民の目線に立って仕事を行うための接遇の知識や心構えなどを学ぶ。

### 施策2 定期通信（コンプラ通信）の発行

【目的】 コンプライアンス意識の浸透を図っていくために、日頃の業務の中で職員一人ひとりがコンプライアンスについて考えるきっかけにするとともに、各所属における朝礼等での意見交換の題材として、活用を図ることを目的として発行する。

### **施策3** 市民の声制度の運用

**【目的】** 市政に対する市民の意見や要望などに熱心に耳を傾け、市民のニーズを正しく把握し、反映できる意見や要望は積極的に取り入れるなど、市民の目線に立った行政運営を行うことを目的として実施する。

(2)

**私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します。**

### **施策4** 公務員倫理・サービスチェックシートの実施

**【目的】** 法令や組織内のルールを守り、適正な事務を執行する、倫理に反しないように、良心に従った行動を取るなど、職員一人ひとりが、コンプライアンス意識を確保するために、公務員倫理やサービス上の基本的なルールなどのセルフチェックを実施することで、自らのサービスのあり方について振り返る機会をもつことを目的として実施する。

### **施策5** 定期通信（コンプラ通信）の発行（再掲）

**施策2**を参照。

### **施策6** 各種監査等の実施

**【目的】** 定例監査、その他公金等の管理に関する調査など、法令等に従った適正な事務を執行していくことを目的として実施する。

### **施策7** 仙台市職員相談・通報窓口の運用

**【目的】** 法令や組織内のルールを守り、適正な事務を執行する、倫理に反しないように、良心に従った行動を取り、組織全体でコンプライアンスの確保を図っていくために、職場内での不正行為等について、職員の声を幅広く集め、実態把握や不正防止、具体の事案改善を図ることを目的として運用する。

### **(3) 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。**

#### **施策 8 リスクマネジメントの実施**

**【目的】** 適正な事務を執行するために、各所属の所管業務におけるリスクについて、所属職員が認識を共有したうえで、リスク対策が確実に実行される枠組みを構築し、事務ミス等の減少に努めることを目的として実施する。

#### **施策 9 業務改善制度の運用**

**【目的】** 職員の業務改善に関する積極的意見の提案や、窓口に関して定期的に市民の意見を把握し、積極的に改善につなげていくことなどを通して、職員の能力向上、職員個人と組織全体への業務改善の意識や風土の普及・定着を図ることを目的として実施する。

### **(4) 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。**

#### **施策 10 職場ミーティング等の励行**

**【目的】** 職員同士のコミュニケーションを図り、同僚の仕事の状況を把握することなどを通して、仲間同士で助け合い、高いチーム力を持った、風通しの良い職場づくりをしていくことを目的として実施する。

#### **施策 11 オフサイトミーティングや職場訪問等の実施**

**【目的】** 相談しやすい、風通しの良い組織づくりを進めるために、一般職員と幹部職員の顔の見える関係づくりを行うことを目的として実施する。

## 4

# 推進に向けて

### (1) 推進体制

各種のコンプライアンスに関する施策を展開していくために、庁内における推進体制を構築し、組織的なコンプライアンスの推進を図る。

### (2) 職員が意欲を持って仕事に取り組むための仕組み

職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上・行動変化、組織づくりを促進するために必要な人事制度、表彰制度に関する仕組みづくりの検討を進める。

### (3) 評価・点検とその対応

#### ① 職員意識調査による定点観測

#### ② 施策の評価・点検と改善

※ 計画期間中に職員意識調査の結果などから、新たな施策の実施の必要性が生じた場合には、各年度で策定するアクションプランの中で追加していく。